

ピースボート災害ボランティアセンター (PBV)

## 新潟・豪雪被害緊急支援 活動報告書

実施期間      2012年2月9日～2月29日  
活動場所      新潟県小千谷市東栄周辺

[オフィシャルサイト] <http://pbv.or.jp/>

[英語サイト] <http://peaceboat.jp/relief/>

# 記録的な豪雪。 過去のつながりがスムーズな活動に活かされた。

2012年2月、ピースポート災害ボランティアセンター(以下、PBV)では、日本海側を襲った記録的な豪雪被害に対して、新潟小千谷市で雪かきボランティアを実施しました。約3週間と短い期間でしたが、2006年、2007年と行った支援の経験と人脈がつながったことで、地元からの理解も早く、住民の方々と一緒になって活動することができました。

東栄周辺には高齢者や女性だけの世帯も多く、毎日降り続く中での除雪作業と家事や仕事の両立は大きな負担になっていました。また、歩道に雪が溜まるため、子どもたちは車道を通って登下校している状態。関東からのボランティアに加え、新潟県内からも応援が駆け付け、毎日途切れることなく活動することができました。



## 小千谷市の被害状況

新潟県中越地方に位置する小千谷市。毎年2月末には雪景色の中、熱気球と花火が一面を彩る「おぢや風船一揆」が有名です。2004年の中越地震、2007年には中越沖地震による被害を受けた地域でもあります。

中越地震で炊き出し支援を行ったつながりから、ピースポートでは2006年、2007年と続いた豪雪被害に対しても雪かきボランティアを行った経験があります。今年もその時に並ぶ積雪量を記録。小千谷市では「豪雪対策本部」を設置し、屋根上の雪下ろしなどを行っていましたが、民家や商店街、歩道までは作業が追い付かない状態でした。



小千谷市豪雪被害状況(2012.3.5時点)  
※小千谷市HPより

人口	38,544人(12,679世帯)
積雪量	1,153cm

# プロジェクトの概要・実績

PBV では、小千谷市での豪雪被害の知らせを受け、以前よりつながりのあった小千谷市東栄地区の方々へ連絡。2月9日に、ボランティア・コーディネーター2名とボランティア2名が現地入りし、活動を始めました。

資金も街頭募金で集めながらの活動。ボランティア応募者には、自己負担での現地合流をお願いしましたが、PBV「災害ボランティア・リーダートレーニング」修了生の若者、新潟県内からの応援も複数合流してくれました。

ボランティア数 派遣人数 **51** 人(日別のべ活動人数 **150** 人)

かき出した雪の総重量 約 **147** t 以上

活動地域：小千谷市東栄商店街、民家、通学路など



## ボランティア参加者の声



昨年末、災害ボランティア・リーダーの研修を受け、実践に活かせる機会だと思い、先遣スタッフとともに現地入りしました。被害状況の把握やボランティアの活動、移動から生活まで短時間で様々な確認作業が必要でした。その後、東京に戻り、現場の活動に必要な資金集めのため街頭募金も行い、一連の流れを体験できたことも良かったと思っています。

関根正孝(埼玉在住、30歳)



雪って、ホントに重いんですね(笑)。ずっとテレビの中の出来事でしたが、雪国の大変さと、そんな中でも雪と共存しようという住民の方々の逞しさにも触れることができました。途中、新潟中越地震の話になり、「あの時も、喪失感というか心の隙間みたいなものを埋めてくれたのがボランティアだった」とお話を伺いました。前のボランティアの人たちの努力があって、今回の私がいたことに気付けた言葉でした。

引地史恵(東京在住、23歳)

## 活動カレンダー

1月	上旬	日本海側で冬の積雪量への警戒が強まる
	14日	新潟県「豪雪警戒本部」設置
	31日	新潟県「豪雪対策本部」設置
2月	7日	小千谷市の受け入れ先と連絡、支援の可能性を検討
	9日	東京からの先遣スタッフ、ボランティアが現地入り
	10日	先遣スタッフ、ボランティアが雪かき作業開始
	12日	ボランティア募集開始、随時現地入り
	23日	積雪量が落ち着き、小千谷市の「豪雪対策本部」が「警戒本部」へ
	29日	PBV ボランティア活動最終日、解散

# 小千谷からの声

## 「これから、地元にもっとボランティアのことを知ってもらいたい」

小千谷市の商店街に暮らす位下(いげ)さんは、今回私たちの受け入れに奔走してくれたパートナー。2006年、2007年の雪かきの時もお世話になった方です。お電話で「雪かきのお手伝いができれば」と申し出てから、わずか2、3日の間に周りの方々にお声かけをしていただき、ボランティアの宿泊用に空き店舗や駐車場の手配をしてくださいました。現地に到着してからも、地元社会福祉協議会や市役所などへご紹介いただき、スムーズに活動に入ることができました。

小千谷市では、今回ボランティアセンターの設置が行われなかったため、現場でのニーズ調査も独自で行うことになりましたが、位下さんに話を聞いた商店街の皆さんが頻りに情報提供してくれました。食事やお菓子を差し入れていただいたりお話を伺っている中で、徐々に地元の被害状況が把握できたり、雪かきのコツなども分かってきました。

活動が終わってご挨拶させていただいた時に、位下さんから出た言葉は、「今度、講演会とか体験談とか、ボランティアの人の話をもっと周りの人に聞いてもらいたいと思ってるんです」というご相談でした。高齢者が多い地域で、震災や豪雪の被害も度々受けてきた地域。若い人たちがやってきて一緒に作業し、小千谷のことを知ってもらうことが、地域にとっても大切だと考えていらっしゃるようでした。

県外のボランティアによる災害支援は、支援に入る側の団体が入れ替わりの激しいボランティアをまとめること、そして受け入れる地元側にとっても事前のイメージが大切だということをお互いが改めて感じる機会になりました。小千谷の方々との関係はこれからも続くと思いますが、平時における防災・減災への取り組みや顔の見える信頼関係づくりが、いざという時にこそ役立つと思っています。



## メディアでの紹介

2月17日新潟日報／2月18日小千谷新聞／3月22日小千谷新聞

## ご協力いただいた企業・団体（順不同、略称表記）

小千谷市社会福祉協議会／小千谷市中央通商店街・東大通り商店街の皆さん

その他、街頭募金にご協力いただいたお一人お一人の皆様にも感謝申し上げます。

## 収支報告

(円)		
収入	街頭募金	116,392
	サポート会員	6,774
	合計	123,166

(円)		
支出	交通費	68,811
	賃貸料	10,000
	光熱費	16,057
	消耗品、備品代	20,288
	通信費	8,010
	合計	123,166



ピースボート災害ボランティアセンター  
新潟・豪雪被害緊急支援  
ボランティア・コーディネーター

**垣貫紀彦**

先遣スタッフとして2月9日に現地入り、その後すぐ東京へ戻り、ボランティアの募集を開始しました。地元の方のご協力はもちろん、僕自身も東日本大震災や和歌山での台風水害への緊急支援に関わってきた経験から、初動に必要な準備と情報を素早く整理できたと思っています。活動後半は、現地コーディネーターを務めましたが新潟県内からも応援に駆け付けてくれたボランティアがいたり、とこれからの災害支援の新しい可能性も感じることができました。

今回、特筆すべきは、昨年11月から始めた「災害ボランティア・リーダートレーニング」の修了生たちの動きです。震災から1年近くが経った東北でのボランティアは、活動に必要な装備や条件が整いつつありますが、緊急支援はそうはいきません。現場に対する想像力と自己完結のための基礎を学んでいる彼らの力は本当に大きかったと思っています。全国各地で彼らのような人材を多く育てることができれば、地域の防災力も飛躍的に高まるだろうと実感しました。

最後に、温かく僕たちを受け入れてくださった小千谷市の皆さんと活動にご協力いただいた方々に、心より御礼申し上げます。



## 「サポート会員」になって、 PBV の運営を支えてください。

東日本大震災への支援活動をはじめ、国内外の災害における初動と緊急支援、災害ボランティアの人材育成には、財政面での事務局体制の安定が必要です。PBV の運営を支える「サポート会員」に、ぜひご協力ください。

### ●サポート会員（1年間）

個人 一口 5,000 円

団体 一口 100,000 円

※二口以上のご協力も可能です。

### ●会員特典

- ・季刊誌「START」と年次報告書をお送りします。
- ・各種講演会・イベントを優先してご案内いたします。
- ・会員同士の集いの場にご参加いただけます。

### ●入会方法は

<http://pbv.or.jp/support-member.html>

---

### 「ピースボート災害ボランティアセンター（PBV）」

PBV は、東日本大震災への継続的かつ大規模な支援活動を展開するため、2011年4月に、国際NGO「ピースボート」が設立した一般社団法人です。ピースボートが1983年より行ってきた国際交流の船旅、そして1995年の阪神淡路大震災以降の国内外の災害支援のノウハウと国内外のネットワークを活かし活動しています。現在は、宮城県石巻市での緊急・復興支援を中心に、ボランティア・リーダーの育成などにも積極的に取り組んでいます。

ホームページ <http://pbv.or.jp/>

---

### 新潟・豪雪被害緊急支援 活動報告書

発行：一般社団法人ピースボート災害ボランティアセンター

編集：垣貫紀彦、武田信大、合田茂広

発行日：2012年5月17日

この刊行物に関するお問い合わせは下記までお願いします。

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 3-13-1-B1

TEL:03-3363-7967 FAX:03-3362-6073

E-MAIL:kyuen@pbv.or.jp

URL:<http://pbv.or.jp/>